

## CiP 協議会のご案内

2016 年 3 月

一般社団法人 CiP 協議会

### ◆一般社団法人 CiP 協議会とは ～「デジタル×コンテンツ」産業拠点形成の活動母体

東京都港区（竹芝地区）に「コンテンツ×デジタル」産業の拠点を形成する活動母体。

『コンテンツを核とした国際ビジネス拠点』を形成する都市開発計画において、研究開発・人材育成・起業支援・ビジネスマッチングを柱に活動。

2014 年から準備会として活動し、2015 年 4 月に一般社団法人 CiP (Contents innovation Program) 協議会（以下 CiP 協議会と表記）として設立。

### ◆竹芝地区開発計画について ～国家戦略特別区域計画の特定事業として認定

東京都港区（竹芝地区）において、複数の所有地を有効活用する「都市再生ステップアップ・プロジェクト」として計画。本年 3 月、国家戦略特別区域計画の特定事業に内閣総理大臣が認定。2019 年度内の竣工をめざして、東急不動産株式会社及び鹿島建設株式会社が開発。

慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）と国内外トップ大学の連携による共同研究機関の設置のほか、官民連携による新たな産業振興、エリアマネジメントを通じたまちづくりなどを展開。



完成予定図(左から住居棟、業務棟)

### ◆CiP 協議会がめざすもの ～「デジタル×コンテンツ」産業・教育・文化を育むクラスター形成

東京湾を臨む海の玄関口であり、羽田と直結する空の出入口である竹芝地区。

この海と空を活かし、さまざまな特区をつくり、技術とデザインの資源を集中投下する。

- ・新たな技術と人材が育ち、そこから新たなビジネスが創られる。
- ・多種多様な可能性を巻き込み、国際競争力をもった産業として世界に押し出す。
- ・次の未来につながる新たなテーマを生み出し、世界中の知恵を結集し研究する。

日本の強みを武器に、官・民・学、東京と地方・海外都市、熱いエネルギーがつながり動くコンパクトなクラスター。これこそが CiP 協議会の描く新しい東京の姿です。

東京オリンピックに向け、「デジタル」をキーとして進められる札幌、京都、福岡、沖縄…、各地の再開発をつなぐ。

さらに、ボストンや西海岸の大学、ロンドンの研究所やパリのイベント、シンガポールのプロジェクト、ソウルのインキュベーション施設を通じて、「デジタル×コンテンツ」に力を入れる都市を連結する。

「デジタル×コンテンツ」産業・教育・文化は、この地から生み出されます。

## ◆プロジェクト、開催イベント

### —研究開発—

#### ◆IT 政策研究会

2025年～2050年にかけての国際的なIT政策を日米合同・産官学で議論・検討

#### ◆アーティストコモンズ

音楽アーティストのID付与体系を構築し、音楽等コンテンツの活性化を通じた産業振興、文化振興を目指す。関係団体とともにID体系、記述できる情報について検討。実証実験についても準備中。

#### ◆デジタル映像産業プラットフォーム

CG等のデジタル映像産業が国内で振興がはかれるよう制度等について提言に向けて調査・議論

#### ◆世界オタク研究所

IOEA(国際オタクイベント協会)と協力し、オタクカルチャーの調査・研究を行う「世界オタク研究所」(仮称)の設立を目指す

#### ◆アーカイブ(特区)

国家戦略特区を活用し、竹芝地区にコンテンツのアーカイブ拠点を設けることを検討

#### ◆i-dio(V-Low マルチメディア放送)(特区)

国家戦略特区を活用し、V-Low帯において、通信・放送融合型の新しいサービスの実験・検証を行う



超人スポーツ(イメージ)

#### ◆超人スポーツ(特区)

国家戦略特区を活用し、超人スポーツの開発・実施・普及に向けた規制緩和の提案を目指す

#### ◆IPDC(特区)

国家戦略特区を活用し、IPデータキャストの開発・普及に向け、制度検討を行う

#### ◆次世代デジタルサイネージ

総務省と連携した次世代デジタルサイネージ実証実験を検討

### —人材育成—

#### ◆キッズワークショップ

将来のコンテンツ人材を担うキッズに、ワークショップを開催していきます。昨年は、都立芝商業高校や、ワークショップコレクションでワークショップを提供。

#### ◆Next Generation 育成講座

2020年以降のデジタル×コンテンツ業界を牽引できる人材、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す講座の実施



芝商業高校でのワークショップ

#### ◆芝商業高校連携

竹芝地区にある都立芝商業高校生徒を巻き込み、人材育成分野の今後の計画に活かす

#### ◆文科省事業連携

文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」に関わる会員社と連携をとり、「ゲーム/CG人材」「マンガアニメ人材」の育成拠点を竹芝に設けることを目指す

## —起業支援—

### ◆起業支援の支援

エンターテインメントに特化したグローバルな IT サービスのコンペティション「START ME UP AWARDS」をはじめとした起業支援活動を行っている団体に対し、運営支援やマッチングなどの形で支援を行う

### ◆CiP ファンド検討

起業支援の母体となるファンド設立について検討を行う。また、投資家コミュニティとのつながりの確立も目指す。

## —ビジネスマッチング—

### ◆SALON CiP(勉強会)

「デジタル×コンテンツ」分野で活躍する多彩なゲストを講師に迎えるセミナー型の勉強会

### ◆CiP シンポジウム

CiP 協議会が目指しているものや、活動について、外向けに発信する場。各活動の発表等も行う

### ◆交流イベント(デジタル暑気払い/忘年会/新年会)

関連他団体も巻き込んだ交流会。各回 100 名以上の参加者を見込む

### ◆コンテンツ分野でのビジネスパートナーズフォーラム (B P F) 体制構築

アニメ、音楽等のコンテンツ会社と異業種とのマッチングが行える機会の継続的な提供を目指す

### ◆IOEA

国際オタクイベント協会の事務局運営に協力し、マッチング機会の増大を図る

## —その他—

### ◆特区構想

国家戦略特区の活用について検討

全国各地の国家戦略特区の実施メニューを調査し、竹芝地区での転用についても検討

### ◆国内連携

京都府の「京都クロスメディア」構想に協力し、人材育成・起業支援・ビジネスマッチング・海外発信等で協働を目指す。京都以外の拠点(沖縄、福岡、札幌等)との連携も目指す

### ◆国外連携

韓国の「Contents Korea Lab」(コンテンツ振興院運営)と連携し、人材育成・起業支援分野での協働をめざす。

韓国以外の拠点(イギリス、フランス、アメリカ、シンガポール等)との連携も目指す。

### ◆施設検討

2020 年竣工予定の建物の CiP 協議会の携わるスペースの内装・設備等について検討

※上記以外にも進行中・準備中のプロジェクトがあります。

◆理事長・監事／会員一覧 (2016年3月現在、五十音順)

【理事長・監事】

理事長：中村 伊知哉(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)

監事：三浦 文夫(関西大学社会学部メディア専攻 教授)

【会員】

◆理事会員(18)

中村伊知哉(理事長)  
 アーティスト commons  
 IPDC フォーラム  
 株式会社アルペログランデ  
 株式会社 NTT ドコモ  
 株式会社エフエム東京  
 一般財団法人大川ドリーム基金  
 株式会社オクタゴン  
 グリー株式会社  
 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科  
 株式会社スペースシャワーネットワーク  
 学校法人中央情報学園  
 一般社団法人日本音楽制作者連盟  
 一般社団法人日本動画協会  
 株式会社フェイス  
 株式会社フォーカスシステムズ  
 マーザ・アニメーションプラネット株式会社  
 吉本興業株式会社

◆一般会員(22)

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社  
 エヴィクサー株式会社  
 株式会社エルデス  
 株式会社オプト  
 一般社団法人共同通信社  
 KDDI 株式会社  
 新日鉄住金ソリューションズ株式会社  
 住友商事株式会社  
 株式会社ディー・エヌ・エー  
 株式会社テレビ朝日ホールディングス  
 東京コンテンツプロデューサーズ・ラボ株式会社  
 株式会社東京放送ホールディングス  
 株式会社東芝  
 日本電気株式会社  
 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ  
 株式会社ヒップランドミュージックコーポレーション  
 株式会社ビリビリ  
 ビルボード  
 株式会社フジ・メディア・ホールディングス  
 株式会社文化放送キャリアパートナーズ  
 ほか 2 社

◆賛助会員

17 社・者

2016 年度の新規加入に向けて  
 複数企業と調整中

# デジタル特区 CiP ビジョン

## シリコンバレーとハリウッドの日本版融合

デジタル×コンテンツの  
クラスターを形成します。



## コスプレが集いロボットが飛び交う基地

クールジャパンとIoTの  
発信拠点となります。



## 新産業創出の永久機関

技術、デザイン、教育、  
ビジネスを結合します。



## 国際的大学と未来の幼稚園

次世代研究と創作系教育の  
基盤を整えます。



## 21世紀の出島

国家戦略特区として  
禁じられた遊びを奏でます。



## 海と空の窓口

東京湾・島しょと羽田空港、  
その立地を活かします。



ArtistComm (アーティストコモンズ)

# 経緯 アーティストコモンズ

- 知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会  
音楽産業の国際展開に関するタスクフォース(H26.4)

楽曲・イベント・新譜等の総合的なデータベースをいかに正確かつ広範に作成・提供できるかがプラットフォームビジネスの鍵となる。既に海外でのファンサイトをはじめ、独自にデータベースを作成する動きがある中、顧客の流れを把握し、望ましい売上に繋げていくためには、我が国業界内での協力体制を築き、公式のデータベースを早急に構築し、SNSの活用も含め海外に効果的に発信していくことが、こうしたプラットフォームビジネスに対抗する上でも極めて重要である。

# 設立 アーティストコモンズ

- 平成26年10月 設立
- アーティストコモンズ実証実験連絡会
- 代表 中井猛 (株)スペースシャワーネットワーク相談役
- 構成

## 連絡会参加団体

- 一般社団法人日本音楽事業者協会(JAME)
- 一般社団法人日本音楽出版社協会(MPA)
- 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協・CPRA)
- 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会(ACPC)
- 一般社団法人日本音楽制作者連盟(FMPJ)

# 設立 アーティストコモンズ

## 連絡会参加団体(続)

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科(KMD)

関西大学社会学部メディア専攻

## オブザーバ参加団体

一般社団法人日本レコード協会(RIAJ)

一般社団法人日本動画協会(AJA)

一般社団法人著作権情報集中処理機構(CDC)

## 関係省庁

知財本部、総務省、経済産業省、文化庁

# クールジャパン戦略推進会議 報告書

- 平成27年6月
- 座長 山口大臣                      副座長 平副大臣
- コンテンツ利活用拠点の構築

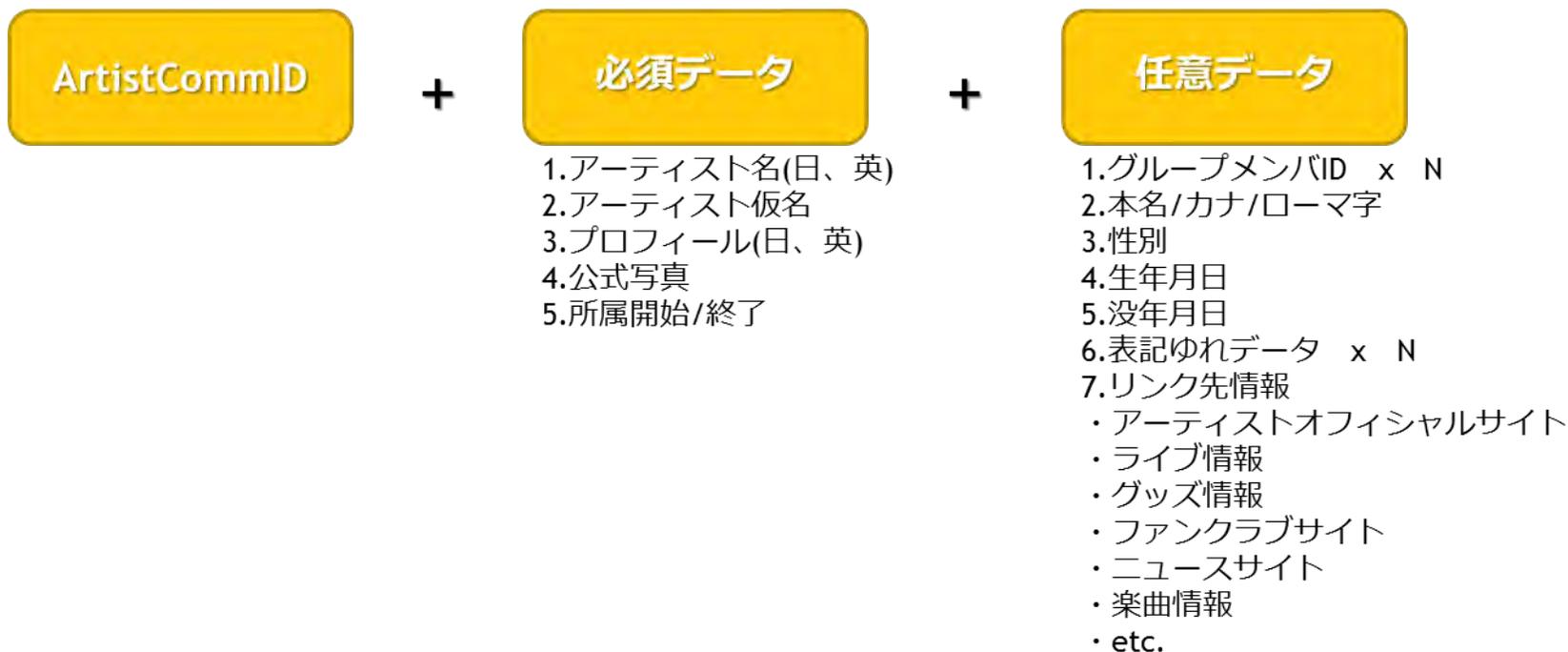
竹芝地区の国家戦略特区を活用することにより、個別アーティストにID番号を付与し管理するアーティストデータベース(アーティスト commons)や、過去の作品を蓄積し利用しやすいようにする作品アーカイブの整備を通じ、個別アーティストや作品へのアクセス性を高め、コンテンツの利活用を促進するとともに、人材育成・活用の機能も有する拠点を構築する。

# アーティストコモンズとは、一意に識別可能なアーティストID

(目的)

アーティスト等の才能と魅力を広く知らしめ、その付加価値を最大化することにより音楽等の産業振興、文化振興・保全に貢献する。

このIDが各種データを紐づけることにより、ネット上のデータベースを自動的かつ有機的に連携することが可能になる。

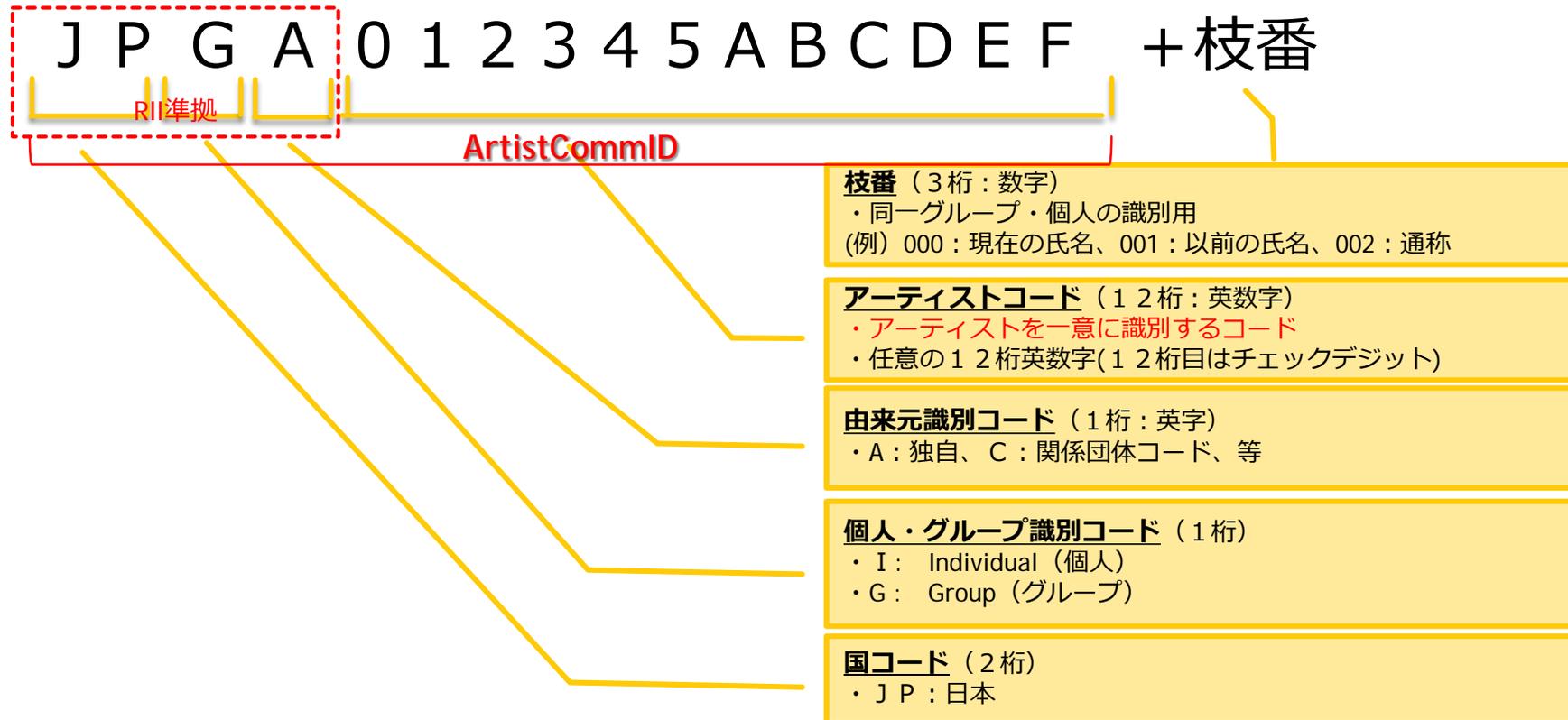


# ID体系案

国際標準であるRII※を拡張したID体系を適用

※ H.751 Metadata for Rights Information Interoperability in IPTV service

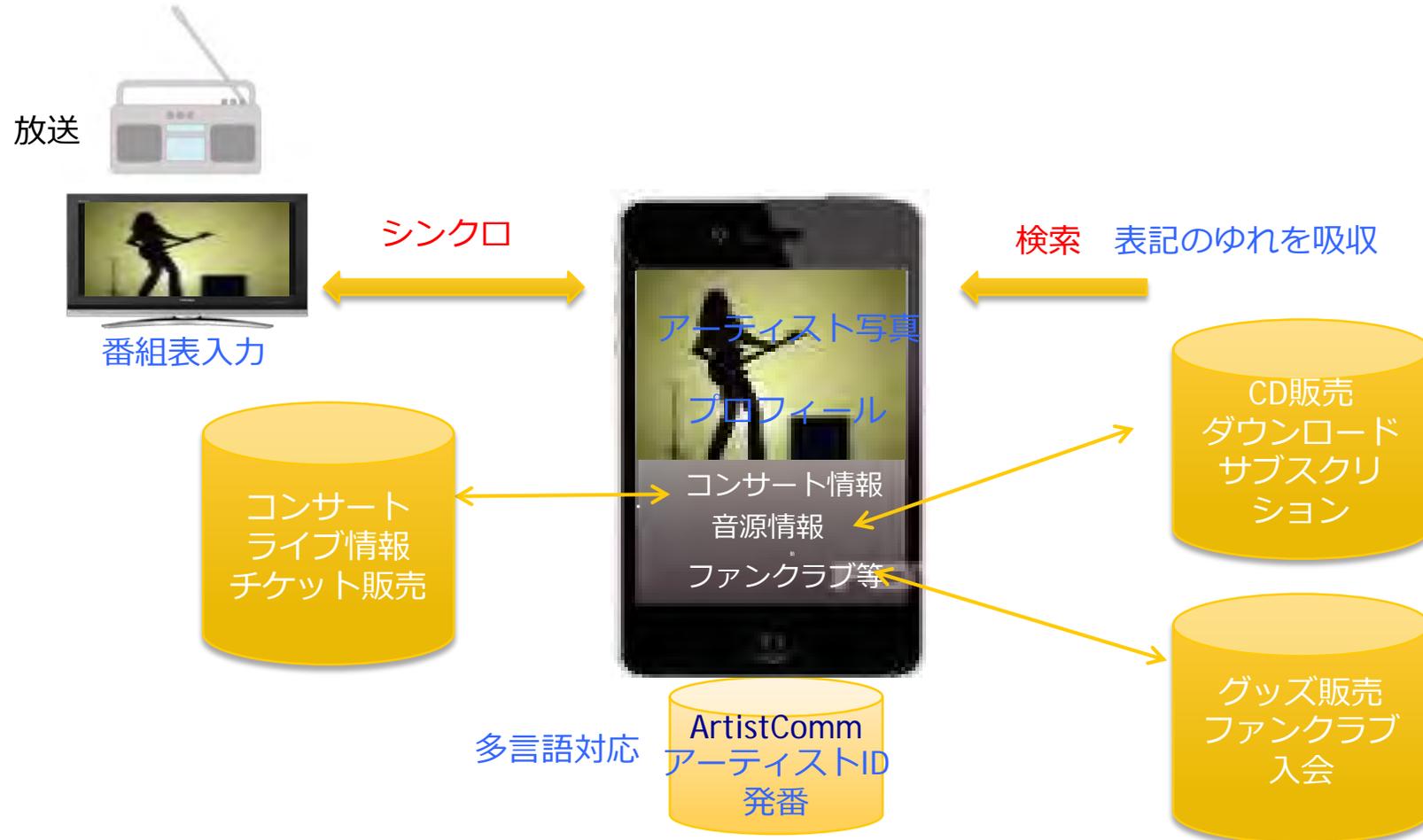
2015年2月にITUワークショップで協議。現在、継続検討中。



# アーティストコモンズ (アーティストID)

ユニークなアーティストIDの発番及び基本情報の整備

アーティスト等を起点として、ライブ・グッズ・音源など膨大なデータを連携し、放送事業者・国内外ユーザなど各ステークホルダーを繋ぐハブとして機能



国家戦略特区  
東京都竹芝地区

一般社団法人CiP協議会

CiP = Contents innovation Program

